

# 2010年2月期 決算発表

**チェルト株式会社**

証券コード:3354 JASDAQ

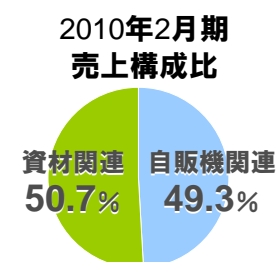
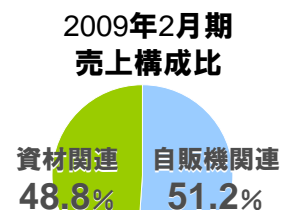
---

## 2010年2月期の業績と活動内容

## 損益計算書(要約)

(百万円)

	2010年2月期			2009年2月期	
	金額	構成比	前期比	金額	構成比
売上高	68,093	—	96.3%	70,745	—
営業総利益	5,654	8.3%	90.5%	6,250	8.8%
販管費合計	2,594	3.8%	98.0%	2,646	3.7%
営業利益	3,059	4.5%	84.9%	3,603	5.1%
経常利益	3,126	4.6%	84.2%	3,715	5.3%
当期純利益	1,841	2.7%	84.8%	2,171	3.1%



※管理可能経費(残業の削減、水道光熱費、旅費交通費の運用徹底など)を中心に販管費のコントロールを強化

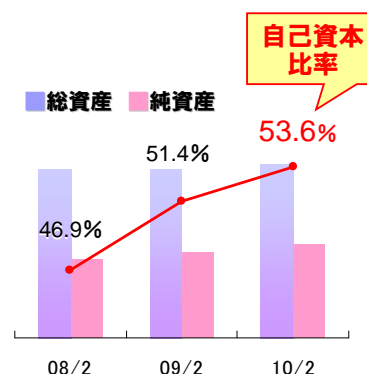
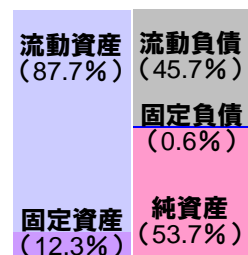
2

## 貸借対照表(要約)

(百万円)

科目	2010/2期	2009/2期	増減額
流動資産	26,490	23,467	3,022
固定資産	3,712	5,677	△1,964
有形固定資産	1,911	2,185	△273
無形固定資産	476	287	189
投資等	1,324	3,204	△1,880
資産合計	30,202	29,144	1,057
流動負債	13,806	13,981	△174
固定負債	184	185	△1
負債合計	13,990	14,167	△176
株主資本	15,954	14,795	1,158
評価換算差額等	241	173	67
新株予約権	15	7	8
純資産合計	16,211	14,977	1,234
負債・純資産合計	30,202	29,144	1,057

10/2期 B/S構成比

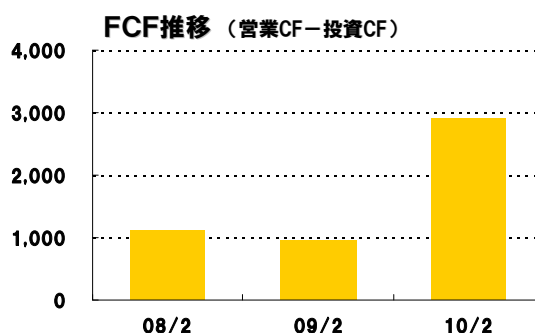
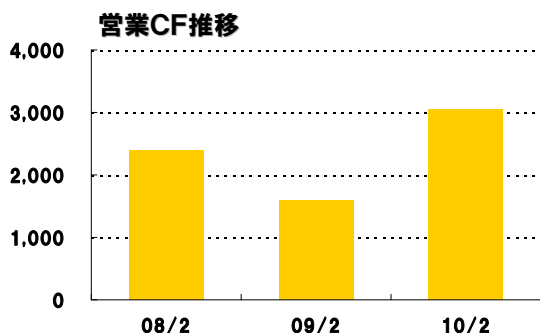


3

# キャッシュ・フロー計算書

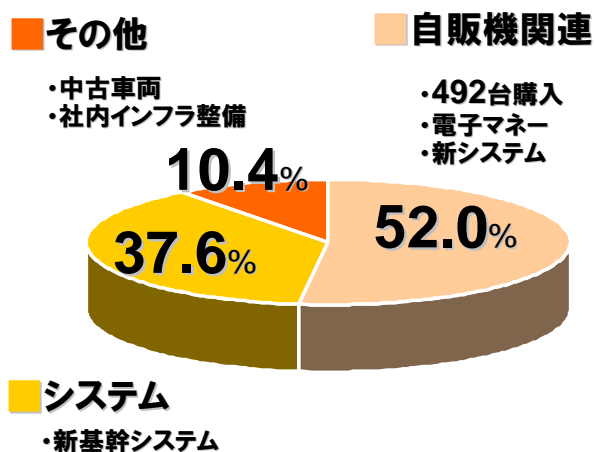
(百万円)

	2010年2月期	2009年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,037	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	131	△645
財務活動によるキャッシュ・フロー	△682	△660
現金及び現金同等物の増減額	2,486	288
現金及び現金同等物の期首残高	7,310	7,021
現金及び現金同等物の期末残高	9,796	7,310



# 設備投資と減価償却費

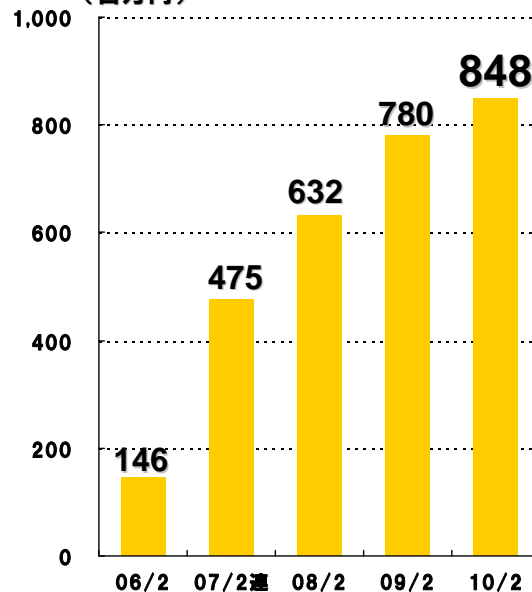
## 設備投資



合計 7億98百万円

## 減価償却費

(百万円)



## セグメント別売上高(資材関連事業)

(百万円)

	2010年2月期			2009年2月期
	金額	増減額	前期比	金額
資材関連事業売上高	34,538	32	100.1%	34,505
ストア・オフィス資材	22,071	△613	97.3%	22,684
印刷用紙・食品原料	2,661	△940	73.9%	3,601
商品パッケージ	9,805	1,586	119.3%	8,219

## ■ ストア・オフィス資材

従来の顧客領域(小売業・食品加工業・物流業)に加え、医療施設との取組み開始。一方、顧客のコスト低減ニーズに対応、レジ袋無料配布中止の影響もあり売上高は減少。

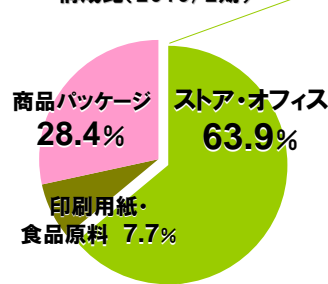
## ■ 印刷用紙・食品原料

販促経費削減の影響を受け、減少

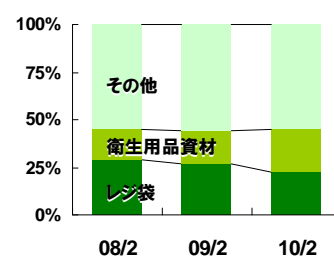
## ■ 商品パッケージ

充填メーカーへの積極的な提案、営業活動新規顧客開拓推進 前期比119.3%

セグメント別売上高構成比(2010/2期)



ストア・オフィス資材の中におけるレジ袋と衛生資材の構成比推移



6

## セグメント別売上高(自動販売機関連事業)

(百万円)

	2010年2月期			2009年2月期
	金額	増減額	前期比	金額
自販機関連事業売上高	33,555	△2,684	92.6%	36,239
飲料商品	28,453	△2,438	92.1%	30,891
玩具商品	2,811	△268	91.3%	3,079
機械	1,622	△229	87.6%	1,851

## ■ 飲料商品

事業所閉鎖や節約志向の影響を受け1台あたりの売上高減少

## ■ 自社オリジナル飲料商品の開発

ミネラルウォーター、コーヒー飲料の開発

## ■ 顧客ニーズに応える多様な自動販売機の設置

電子マネーwaon対応自動販売機の展開  
マルチプライス機(価格訴求型)の積極的な設置  
環境対応自動販売機の積極的な設置

## ■ 新自動販売機管理システムの構築

今まで以上に鮮度感のある品揃え実現

7

## 2010年2月期の取組み－新たな顧客領域への展開

### コスト低減やアウトソーシング化ニーズの高まる新市場

#### 病院・医療施設との取組み

ターゲット理由

- ・価格設定の不透明さ
  - ・品目数の多さによる煩雑さ
- 病院の購買担当者の約8割が不満をかかえている

調査レポートより

当社強み

- ・低コストかつ明快な価格
- ・後方部門の一括受託サービス提供によるお客さま業務負荷軽減

将来

経営の合理化と職場環境の改善をオールインワンでサポート

#### A病院さまの場合

- ・低価格な衛生資材を提案
- ・商品、サービスのラインナップを強化（自動販売機、事務用品など）
- ・グループ企業が提供する清掃サービスを提案

#### 今後の展開例



- ・ミニ売店
- ・リペアサービス
- ・配達サービス
- ・警備、清掃



- ・受付業務
- ・人事、総務事務
- ・病院事務の業務代行
- ・福利厚生代行



## 2010年2月期の取組み－WEB発注ツールの伸張

### －お客さまのご要望にお応えし、品揃え拡充、使いやすさを改善－

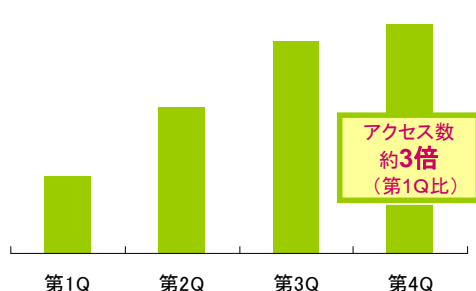
- ✓ 調達価格の低減
- ✓ 発注・検収・支払い業務の簡素化による間接経費低減

- ✓ お客さまの声を活かし品揃えの拡充(17,500sku)
- ✓ カタログを利用した営業活動の推進
- ✓ WEB発注ツールE-SHOPから「ちえるねっと」への一本化
- ✓ システム改善

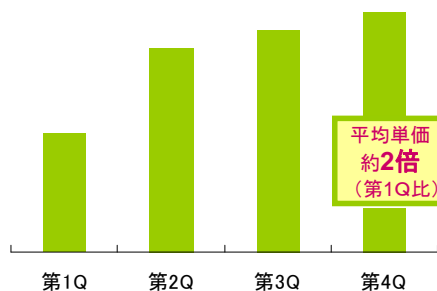
「ちえるねっと」の利用促進



■ 2010/2期アクセス数の推移



■ 2010/2期注文平均単価推移



ちえるねっと専用カタログ



# 2010年2月期の取組み－オリジナル商品の開発



## 環境への取組み

CO<sub>2</sub>排出量削減のための

法律・諸制度の変更



「グリーン購入商品」や

「ペットボトル・リサイクル素材」など

環境対応商品の取扱量を拡大

### バイオマス素材

石油由来から生物由来へ

ポリ袋・包装資材に  
バイオマス素材を積極採用



たまごパック10枚

= 石油約138ml

CO<sub>2</sub>約157ℓの削減



### カーボンフットプリント

トップバリュ「カーボンフットプリント商品」の  
包装資材におけるCO<sub>2</sub>排出量数値算出を担当

2010年1月、トップバリュ初の  
「カーボンフットプリント商品」が発売  
袋の薄肉化も提案し1枚あたり2.62g(4%)  
のCO<sub>2</sub>排出量の削減を実現



「つくる」はこぶ・はんぱい  
「つかう・する」それぞれ  
段階別のCO<sub>2</sub>排出量を明記



### 軽量化・印刷の変更

パッケージの仕様の変更によりCO<sub>2</sub>排出量を削減



水性インク印刷  
水とアルコールのみで  
できた環境に優しいインク



薄肉化・軽量化  
薄くしたことで  
重量削減



印刷色数の削減  
色数を減らし使用する  
版や溶剤を削減

## 新たな取組み－従業員満足支援サービスの展開

事業所(商業施設・オフィスビル・工場)で働く従業員のみなさまに、従業員向けミニ売店、リペア(パソコン・衣服・靴・住居)、配達サービス、コピーサービスなどを提供

### ●ビジネスモデル



### ●展開エリア



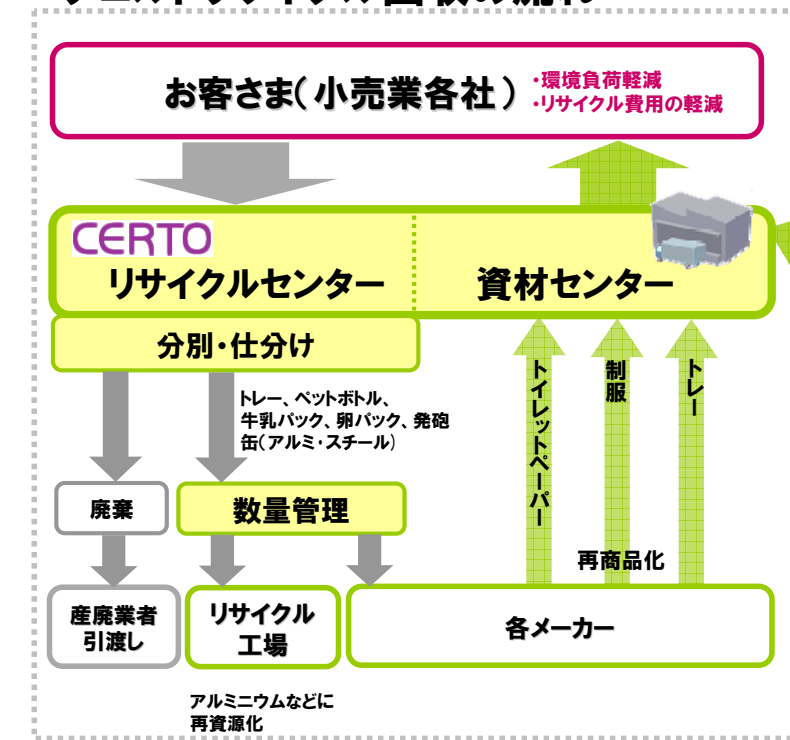
12

## 2011年2月期の方針

13

## 資材関連事業

### チェルトリサイクル回収の流れ



### 当社の役割

- ・回収品を一括に回収 (スキーム管理)
- ・お客さまの煩雑な回収作業を緩和 (回収品の分別の明確化、見える化の実施)



14

## 自動販売機関連事業

### 多様化するお客さまのニーズ

- ・マルチプライス(価格訴求型)自動販売機の拡大
- ・軽食、DVD、サプリメント自動販売機の展開
- ・電子マネー(waon)対応自動販売機の推進
- ・デジタルサイネージ(液晶ディスプレイ)の取組み

15



## 新規事業の取組みと新たなマーケット



16

## 経営統合

合併決議取締役会	2010年3月25日
合併契約締結日	2010年3月25日
定時株主総会開催日	2010年5月中旬
最終売買日	2010年8月26日
上場廃止日	2010年8月27日
合併予定日(効力発生日)	2010年9月 1日

※2010年5月中旬以降の記載は、現時点での予定です。

17

## 2011年2月期(第2四半期累計期間)計画値

(百万円)

	2011年2月期 第2Q累計			2010年2月期 第2Q累計	
	金額	構成比	前期比	金額	構成比
売上高	35,000	—	100.1%	34,958	—
営業利益	1,600	4.6%	85.8%	1,864	5.3%
経常利益	1,625	4.6%	85.3%	1,905	5.5%
四半期(中間) 純利益	690	2.0%	62.2%	1,108	3.2%

※当社は2010年3月25日開催の取締役会において2010年9月1日を効力発生日として、イオンデイト株式会社を吸収合併存続会社、当社を消滅会社とする合併を行うことを決議し同日付で吸収合併契約を締結したため「2011年2月期の業績予想」の記載については第2四半期累計期間のみの記載とし通期の業績予想の記載は省略しております。

18

## 注意事項

**この資料には、チェルトの将来についての計画や業績に関する  
予想及び見通しの記述が含まれています**

本資料のうち、当社の将来的な経営戦略や営業方針、業績予想等にかかわるものは、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づいて想定、算出されたものであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでおります。

そのため、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があります。

19

**本日は、ご清聴いただきまして誠にありがとうございます。  
ご意見・ご質問につきましては、下記をお願いいたします。**

**チェルト株式会社  
広報・IR課**

**Mail ir-info@certo.jp  
TEL 043-351-2511**

**または、当社ホームページよりお問合せください。**

**<http://www.certo.jp/contact/index.html>**